

令和7年11月25日18時01分頃の熊本県阿蘇地方の地震について

令和7年11月25日18時01分頃に発生した熊本県阿蘇地方を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先

地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

震度5強を観測

震度5強 熊本県

(揺れの強かった地域)

落石や崖崩れなどの危険

今後の地震や雨に十分注意

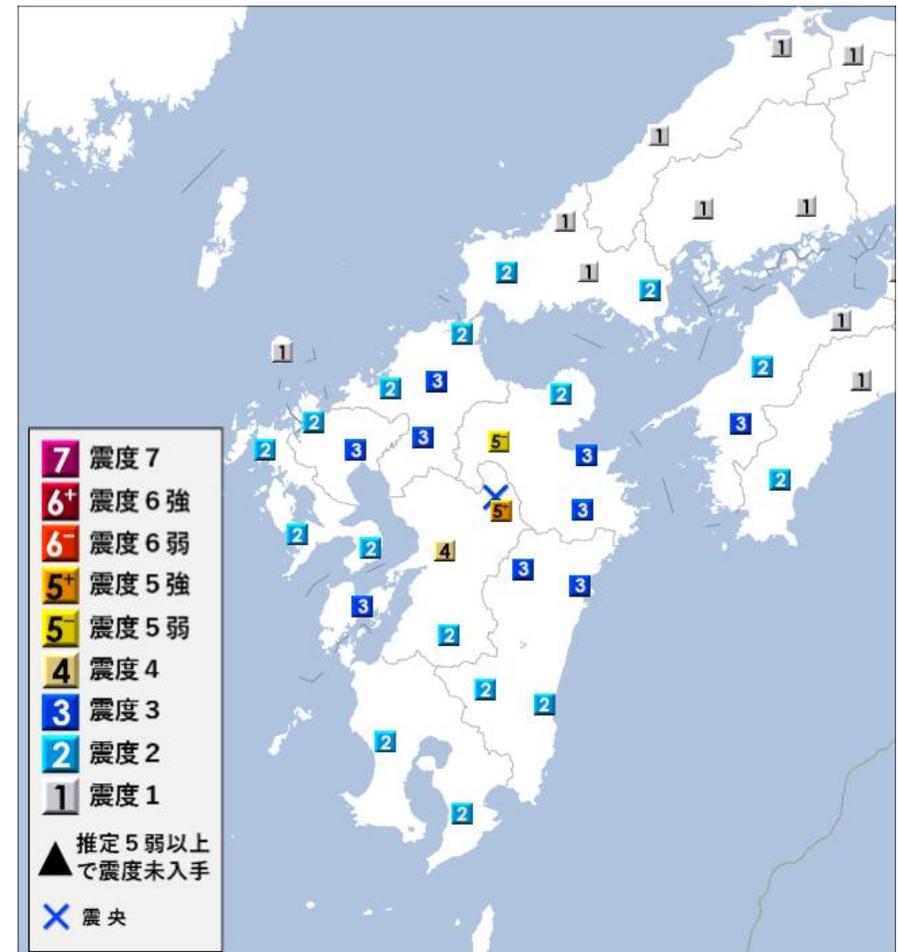
※1週間程度(特に今後2~3日の間)

最大震度5強程度の地震に注意

過去に続発事例あり。

さらに強い揺れの地震発生のおそれも。

11月25日18時05分発表



地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	11月25日18時01分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	11月25日18時01分
マグニチュード	5.8(暫定値;速報値の5.7から更新)
発生場所	熊本県阿蘇地方 深さ 9km(暫定値;速報値 深さ約 10kmから更新)
発震機構	北北西—南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震(速報)
震度	【最大震度5強】熊本県の産山村(うぶやまむら)で震度5強を観測したほか、近畿地方から九州地方にかけて震度5弱~1を観測
地震活動の状況 25日19時00分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が9回発生(震度2:5回 震度1:4回)
長周期地震動の観測状況	佐賀県南部、熊本県阿蘇で長周期地震動階級1を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

この地震による津波の心配はありません。

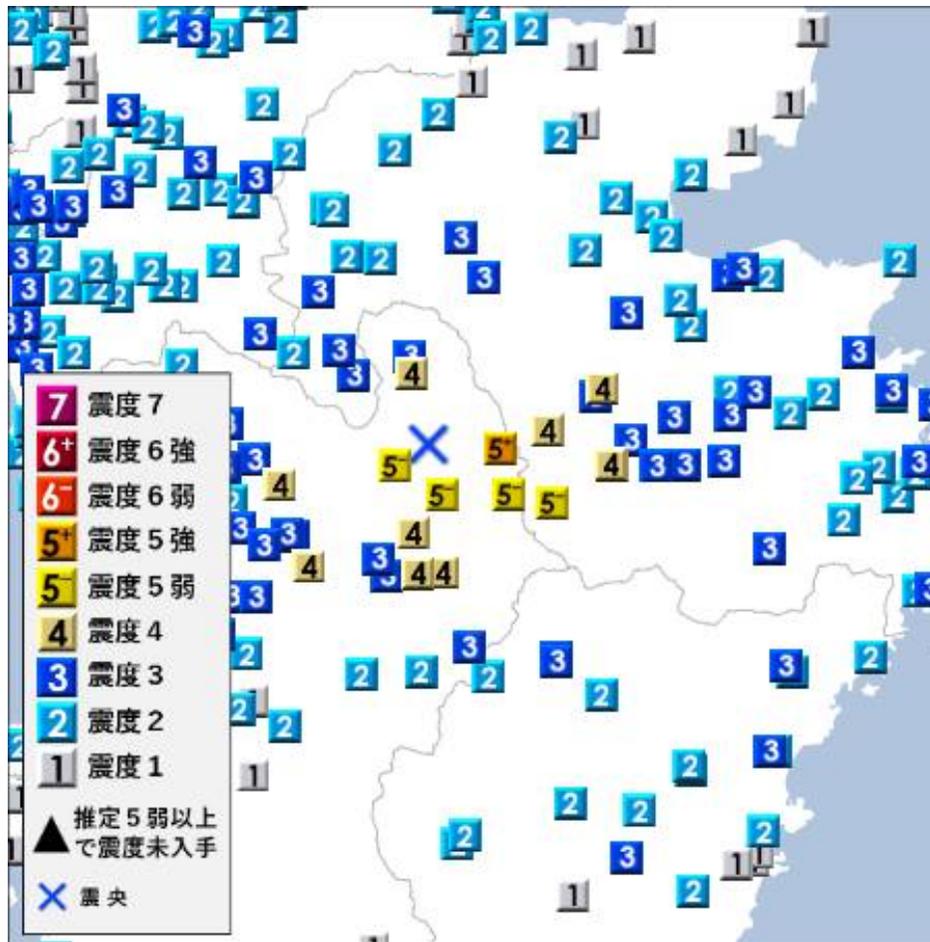
揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意してください。

(今後の地震活動の見通し)

この地域では過去に、大地震発生から1週間程度の間と同程度の地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度5強程度の地震に注意するとともに、さらに強い揺れをもたらす地震が発生する可能性もありますので注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、強い揺れをもたらす地震が発生することが多くあります。

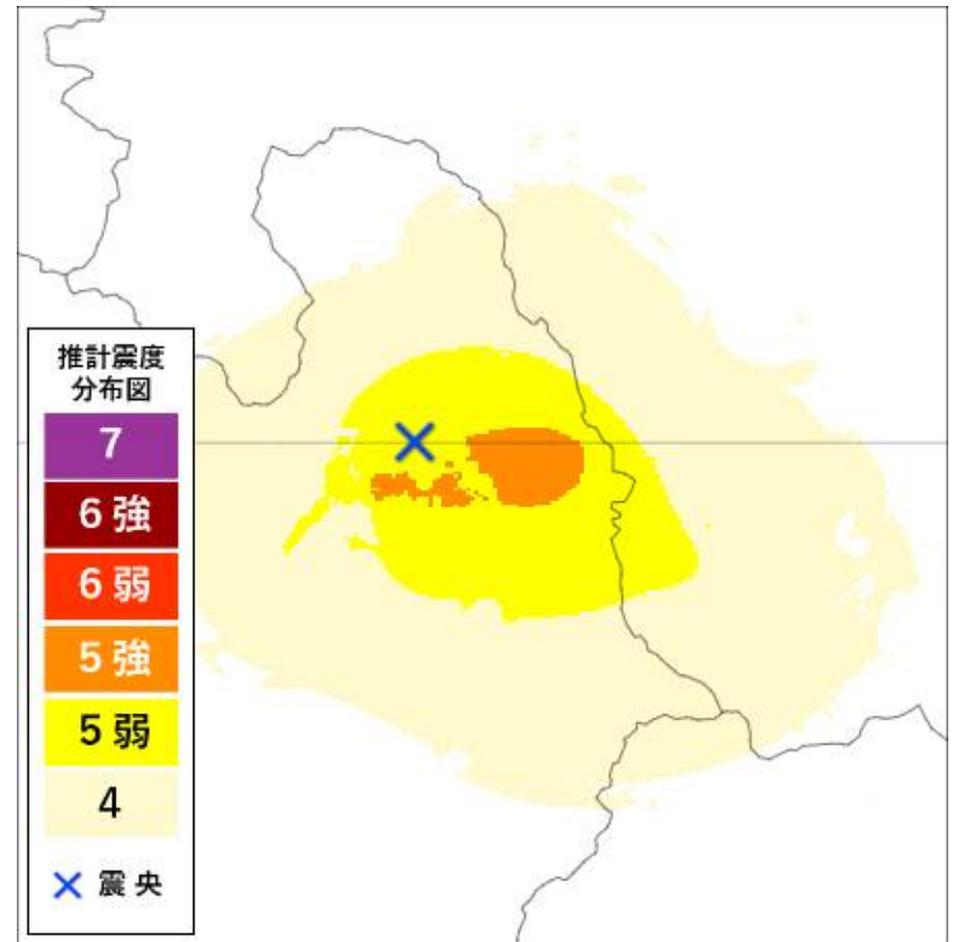
震度分布図・推計震度分布図

【各観測点の震度】



11月25日18時05分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

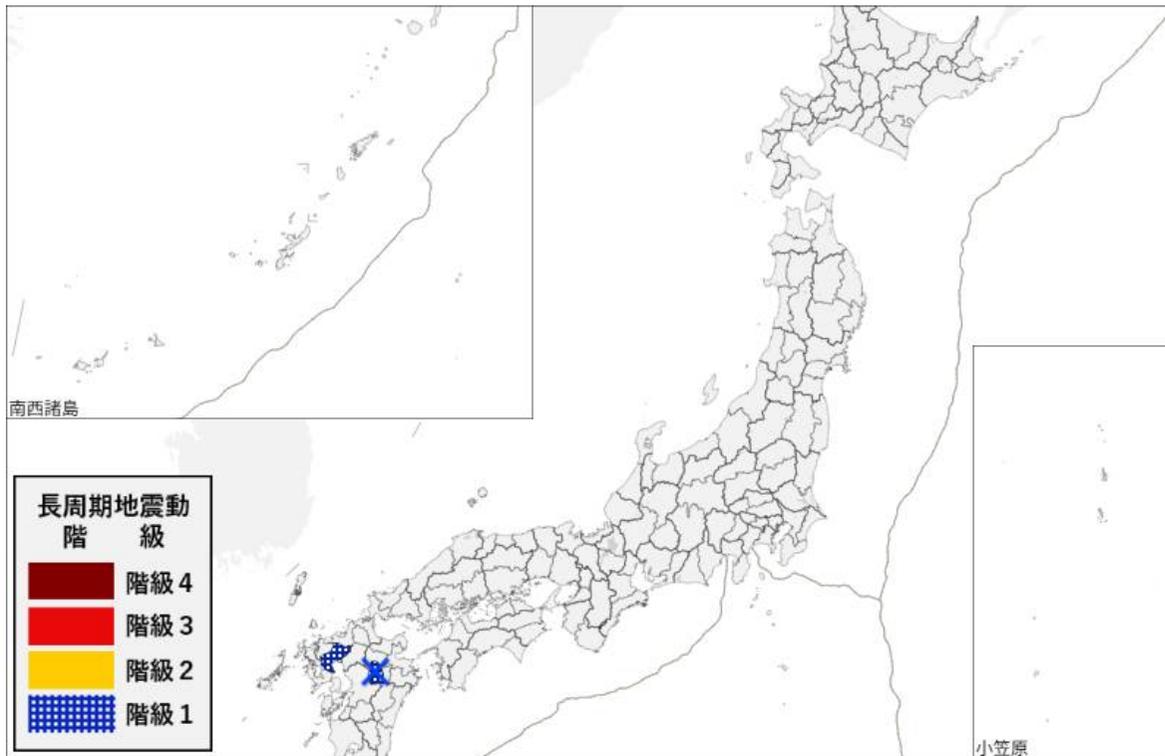
地震情報:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

推計震度分布図:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map

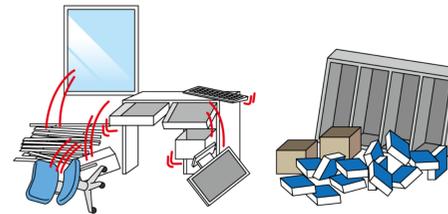
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称
階級1	佐賀県南部 熊本県阿蘇

11月25日18時10分発表



階級4



立っていることができない

階級3



立っていることが困難

階級2



物につかまりたいと感じる

階級1



ほとんどの人が揺れを感じる

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

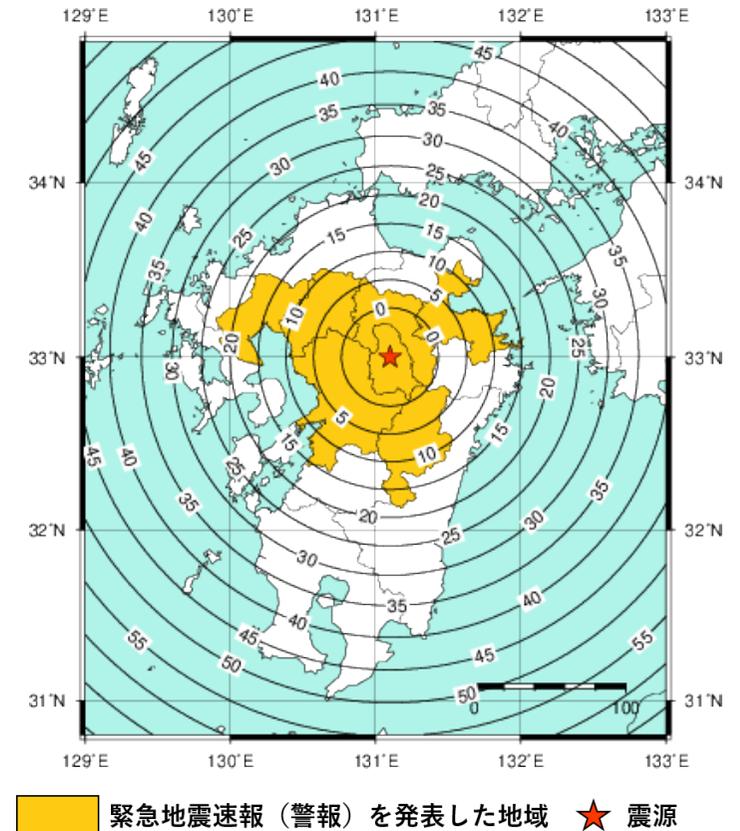
長周期地震動に関する観測情報:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過 時間 (秒)	震源要素				予測した 震度と階級	
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ		M
第2報	18時01分25.8秒	6.1	熊本県阿蘇地方	33.0	131.1	10km	5.5	※2
※2	震度5弱程度	熊本県阿蘇						
	震度4程度	大分県西部、熊本県熊本、大分県中部、宮崎県北部山沿い、佐賀県南部						
	震度3から4程度	福岡県筑後						

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

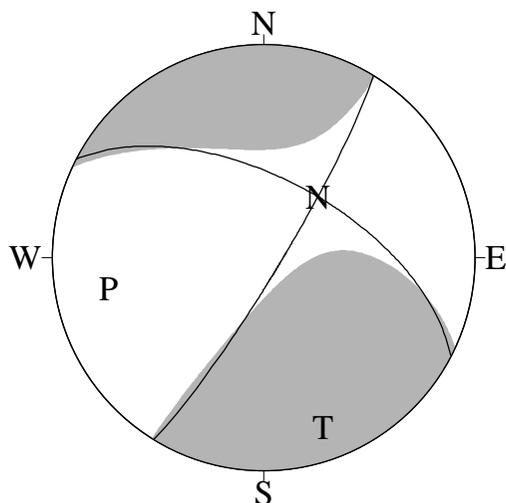
発震機構解

11251801

北北西 - 南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型

[CMT解(速報)]

Mw=5.4



下半球等積投影法で描画

P：圧力軸の方向

T：張力軸の方向

セントロイドの位置

北緯 32度58分

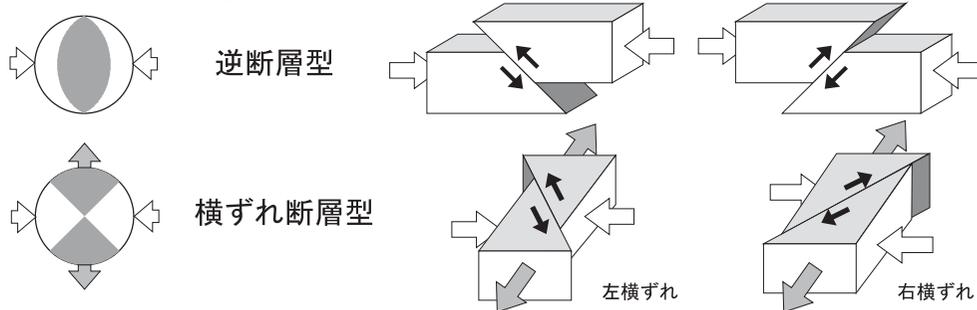
東経 131度6分

深さ 約10km

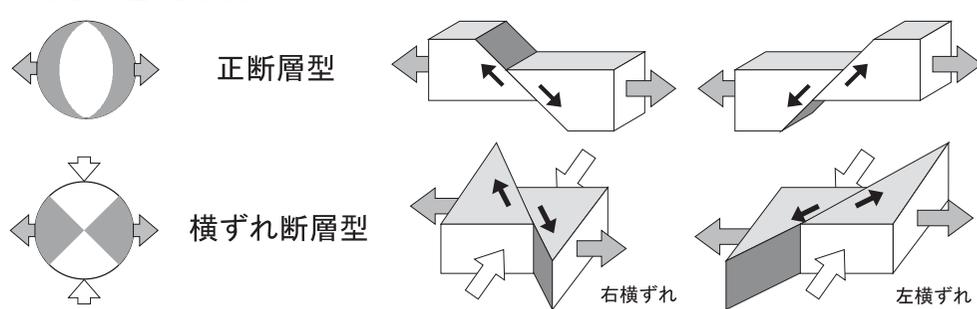
セントロイドの位置とは、地震の断層運動を1点で代表させた場合の位置。

発震機構解 [CMT解] について

圧力軸に注目した場合の例



張力軸に注目した場合の例



⇨ ⇩ 圧力 (押し力) ⇩ ⇨ 張力 (引く力) ⇨ ⇩ 断層がずれる方向

気象庁作成

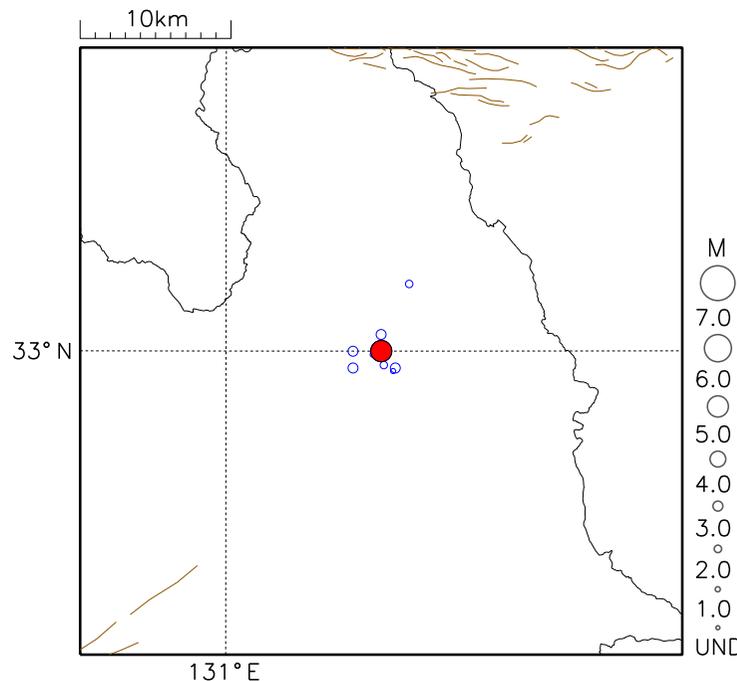
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

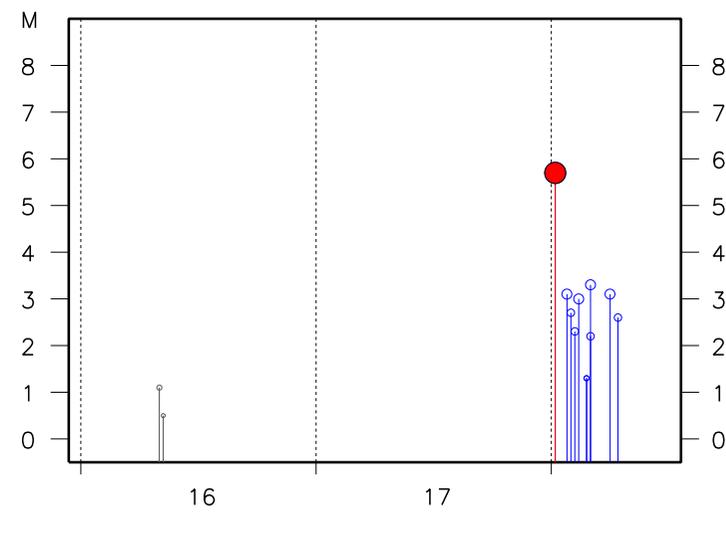
深さ0 -- 100km、 M 全て

2025 11 25 16:00 -- 2025 11 25 18:30



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

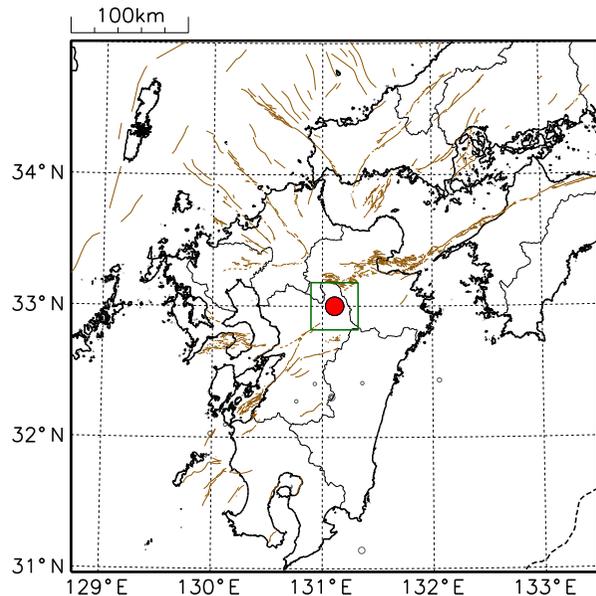
2025 11 25 16:00 -- 2025 11 25 18:30



震央分布図（広域図）

深さ0 -- 100km、 M 全て

2025 11 25 16:00 -- 2025 11 25 18:30



(震源の色について)赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震 灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

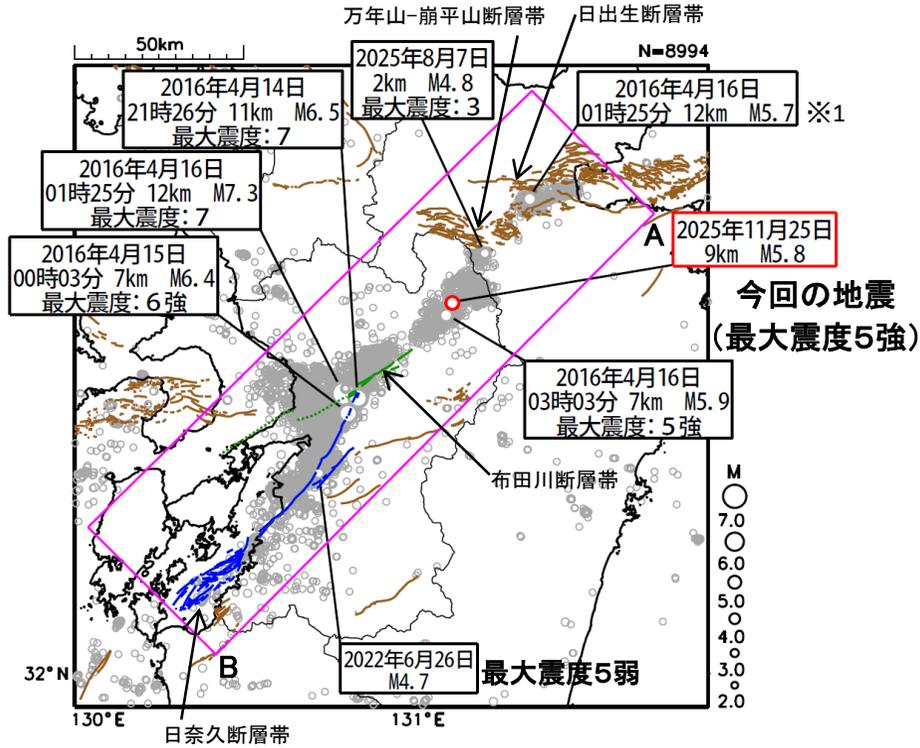
<資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

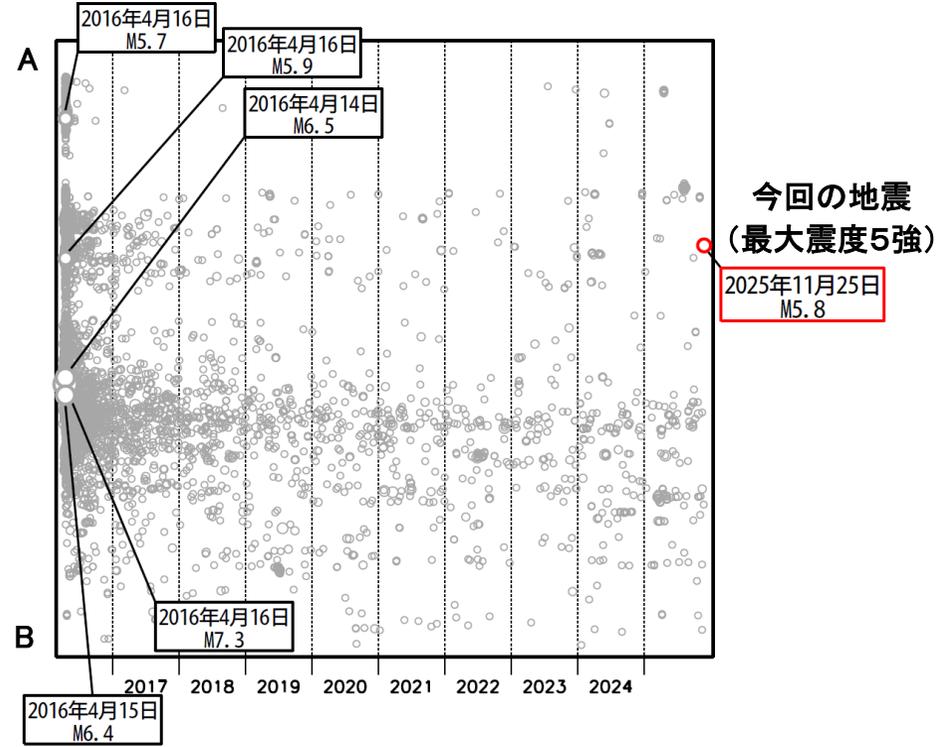
令和7年11月25日 熊本県阿蘇地方の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

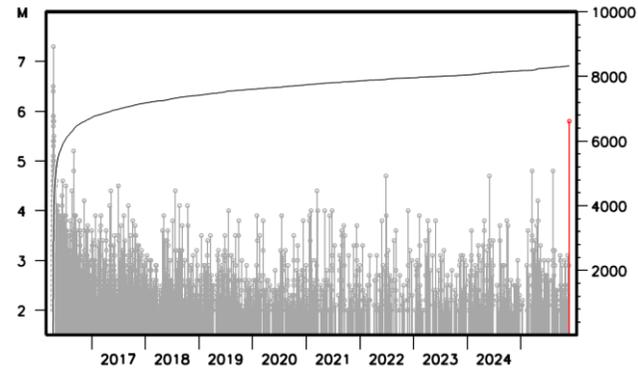
(2016年4月14日21時00分～2025年11月25日18時02分、
深さ0～20km、M2.0以上)



震央分布図の四角形領域内の時空間分布図 (A-B投影)



震央分布図の四角形領域内の地震活動経過および回数積算図



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

震央分布図中の茶色、青色及び緑色線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

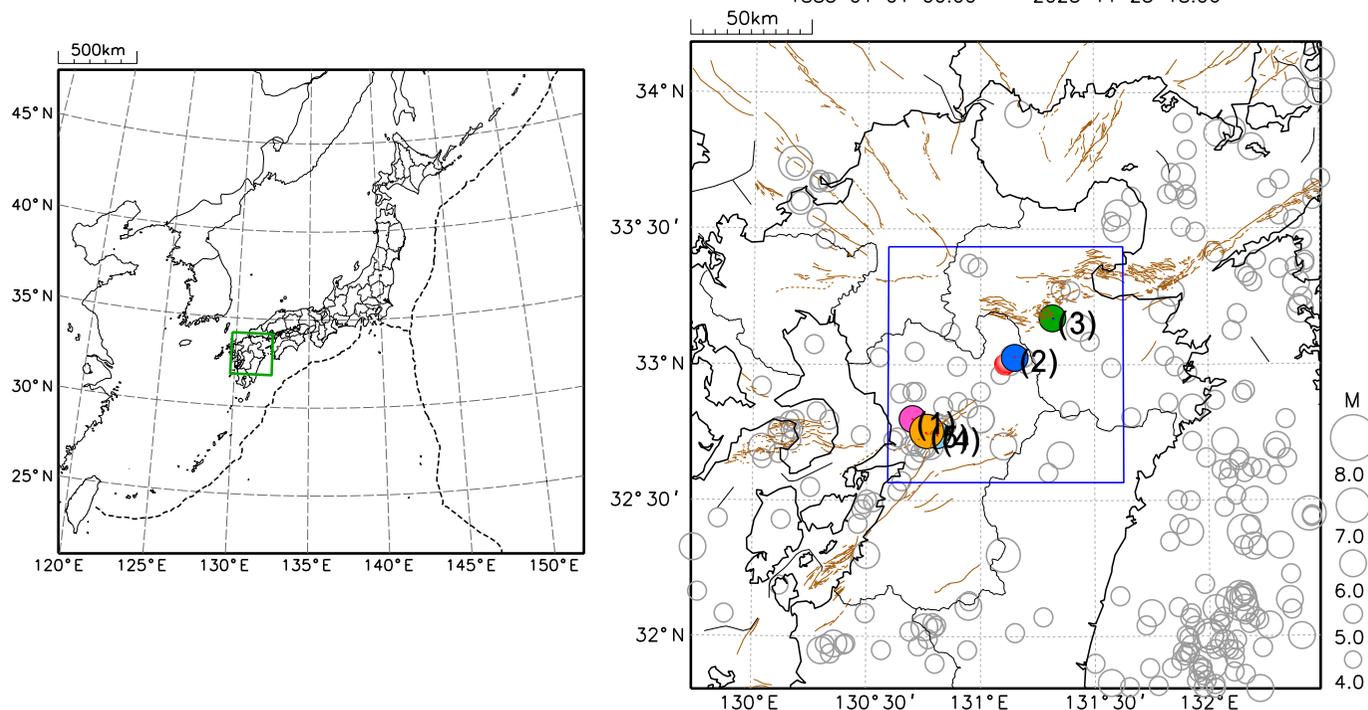
※1 M7.3の地震の発生直後に発生したものであり、Mの値は参考値。

2025年11月25日の地震を赤色で表示

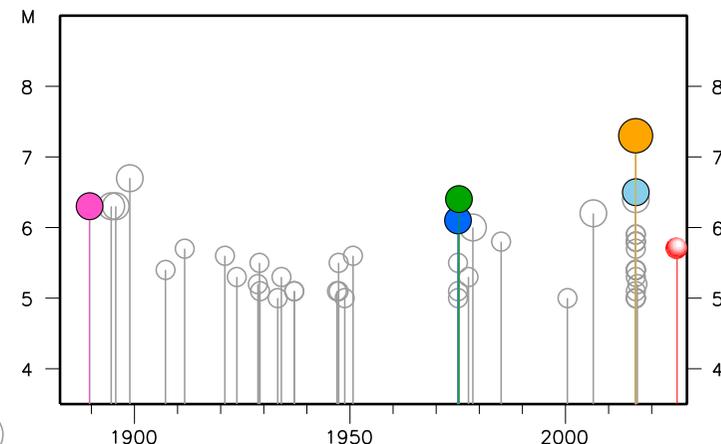
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

M 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km
今回の地震を赤く表示
1885 01 01 00:00 -- 2025 11 25 18:06



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

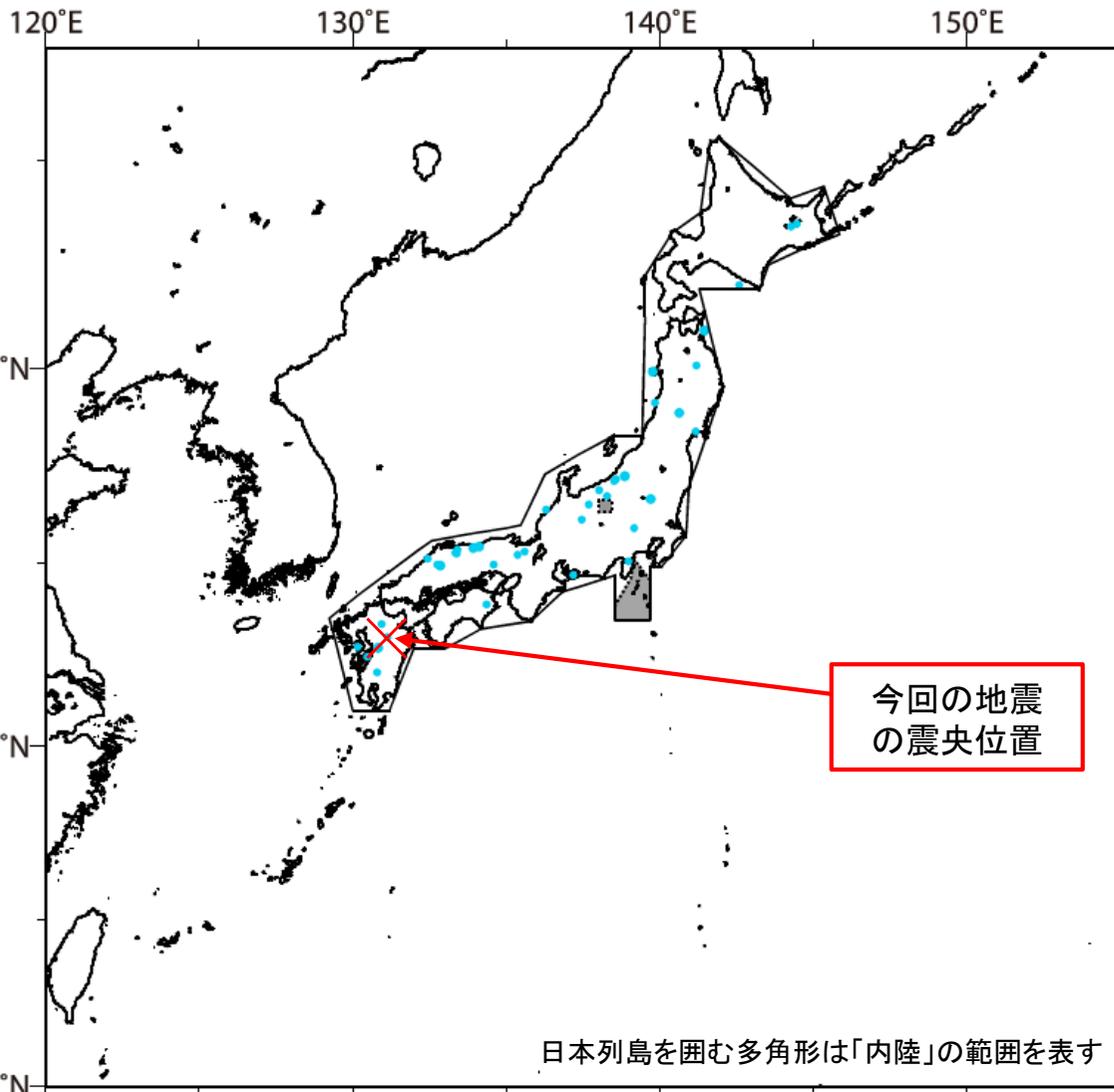
主な地震のシンボルの色と番号の対応
桃：(1)，青：(2)，緑：(3)，水：(4)，黄：(5)

- (1) 1889年07月28日 M:6.3 熊本県熊本地方
- (2) 1975年01月23日 M:6.1 熊本県阿蘇地方
- (3) 1975年04月21日 M:6.4 大分県西部
- (4) 2016年04月14日 M:6.5 熊本県熊本地方
- (5) 2016年04月16日 M:7.3 熊本県熊本地方
「平成28年(2016年)熊本地震」[6.5 7.3]

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。
- ・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津(1982,1985)及び茅野・宇津(2001)による。
- <地震の名称について>
- ・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
- ・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称(「」を付加しない)を併記している。名称は、「日本の地震活動(第2版)」(地震調査研究推進本部)による。
- ・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。
- <資料の利用上の注意点>
- ・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。
- ・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
- ・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力()が異なる場合がある。検知能力：特定の地域、時期において、あるM(規模)以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

大きな地震発生後に規模の近い地震が続発した過去の事例 (内陸地殻内)

1923年～2016年6月、内陸で発生した深さ0～30km、マグニチュード5.0以上、規模の差が0.5以内もしくは同規模以上の地震が発生した地震を●で表示



日本列島を囲む多角形は「内陸」の範囲を表す

規模が近い地震が続発した過去の事例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」報告書による。

■日本全国での過去の事例

内陸の浅い場所で発生した大きな地震の場合、過去には規模が近い地震が続発した事例があります(左図の●及び灰色の領域)。また、まれに、発生した大きな地震よりも、より規模の大きな地震が発生した事例もあります(563事例中、35事例で全体の6%)。

■今回の地震の周辺における過去の事例

今回の地震の周辺では、1975年に熊本県阿蘇地方で発生したM5.5の地震の1.4日後にM6.1の地震が発生した事例があります。

発表した情報などについて

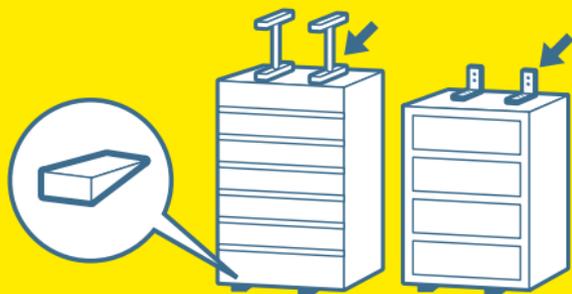
- 津波警報等の発表状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>
- 津波の観測状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>
- 潮位観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>
- 地震情報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>
- 緊急地震速報の発表状況
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>
- 震央分布
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>
- 地震から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jishin/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jishin/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X(旧Twitter)
https://x.com/JMA_bousai



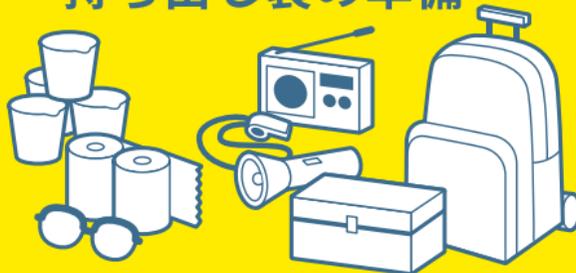
日頃からの地震への備え

日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありませんので、日頃からの地震への備えを心がけてください。

□ 家具の固定



□ 非常用 持ち出し袋の準備



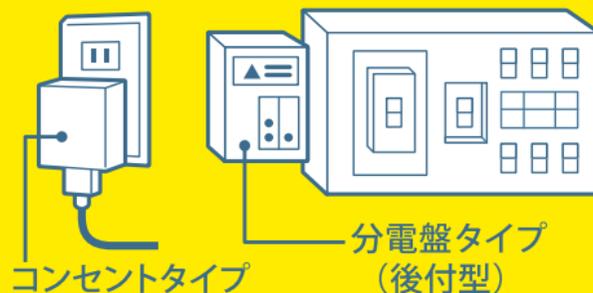
□ 水や食料の備蓄



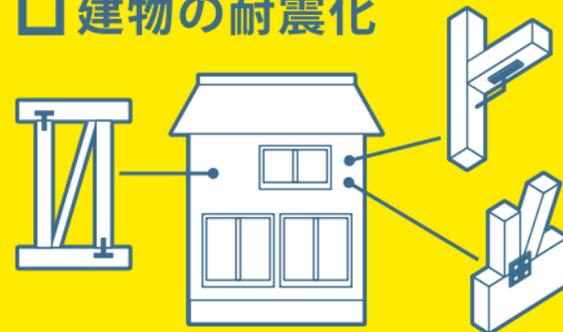
□ 避難場所や 避難経路の確認



□ 感震ブレーカーの設置



□ 建物の耐震化



日頃からの備えについては、以下のページでもご確認いただけます。

地震から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jishin/jishin_bosai/index.html

津波から身を守るために：https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/jishin/tsunami_bosai/index.html